

奈良伝承

Vol. 12

さまざまに
技術を受け継ぐ、
担い手をご紹介。
みんなで応援しよう！



大学を出てから「奈良の伝統産業」の冊子を手にしたとき、墨づくりが紹介されているのを見て、その思いが一気に膨らみ、自社に問い合わせたのが始まりです。

墨の歴史は古いですね。

今から1300年前の平城京の跡からは、墨で書かれた木簡や土器が多く発見されています。そんな歴史のある墨づくりに携わっていることに魅力を感じ、やりがいにも繋がります。

墨づくりの技術はどのようにして教わりましたか？

当時、相談役の綿谷一行わたたか ひとゆきさんに教えていただきました。

いつも「ええ墨つくれ」と教えられていたので、いつもその言葉を胸に、熱い思いで仕事をしています。墨づくりを始めて16年になります。

良い墨とは？



(手練り)

見た目が美しく、すった時に滑らかな鮮やかな墨色が出ます。そのために

お客様に喜んでいただけるよう
なええ墨をつくりたいです。



良く練った墨玉を墨の大きさに合わせて量り、木型に入れます(型入れ)

今後はどのような墨づくりを目指していますか。

は、原料の煤すすと膠にかわ、香料が均一に混ざっていないなければいけません。暑い時期は原料の膠が腐りやすいので、毎年10月から4月の寒い時期に1年分の墨をつくります。また、その日の気温や湿度により手や足の感覚で力加減を変えて、均一に混ぜていきます。



原料を攪拌機で混ぜて良く練った墨玉を、より均一に混ぜるため手と足で良く練ります(足練り)

10年前に墨匠名「玄堂」をいただきました。固形墨の後ろにその名前が刻まれていれば、私がつくったものですよ。

これから墨づくりを目指す人へのメッセージがあれば教えてください。

伝統のある墨づくりを受け継ぐ熱い思いがあればできます！



木型から取り出した墨は、急激に乾燥させると割れるため、灰の中に埋めて徐々に乾燥させた後、稲わらで編んで天井からつるし、空気乾燥させる。



株式会社 呉竹
全国シェアの95%を誇る「奈良墨」(固形墨)の他墨滴、書道用品、筆ペン、スクラップブック用品等を手掛ける。全国の取扱店等で購入できます。
〒奈良市南京終町7-576
☎ 0742-50-2050(お客様窓口)
HP www.kuretake.co.jp/
「筆ペン」をプレゼント!詳しくは25ページへ。